

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体を実現するための校内研修①

DXについての職員研修

- ①ICTの公務への効果的な活用
- ②AIドリル等を用いた真に指導の個別化が成立する具体的な取組、可視化の手法など効果的な活用方法
- ③「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化に充実させ、主体的対話的で深い学びの実現と評価

講師を招聘しての校内授業研究・研究協議

校内研修や先進校視察を受けての授業展開。算数では自由進度学習にチャレンジしました。授業の振り返りにはGoogleformを活用。

①この授業で、ねらいにせ ることができたか	②ICT機器を使うポイントは有効であ ったか	③「個別最適」で「協働的な学び」になっ ていたか	④そのほか、コメント（自由）
できていたように感じる。途中、作品から想像するのではなく、自分なりにオリジナルなイメージを膨らませている児童がいたことがあった。	流れていったように感じる。何かという点で、思った理由が気になります。	子どもたちによって様々な選択肢があって、学びの選択肢が広がったように感じます。	
ほとんどのねらいにせまることができていたと思います。作品の色合いやポーズをもとに、想像することができ、ほとんどの児童が積極的に活動できていました。また、ルーブリックを使ってわかりやすく最初に説明することで、児童が目標ゴール地点がわかりやすかったです。	ポーズを撮影して送るのとおもしろいと思いました。	いろいろな方法を選択肢できることや個人や様々なグループで活動できることがあった。特に机をくっつけたグループだけでなく奥席前で集まったときのグループなどで話し合えるようになっていく場面が特にいいなと思いました。	今回はいろんな方法で考えることが形で話し合えるようになっていくような場面や交流できる場面の中で、それがあればもっと考えが深まるとも思います。
せまっていたと思う。	有効であった	一人ひとりの選択肢があり、自分にとってやりやすい方法を選択肢している。個別最適だと言える。協働も協働ではなく、自分にとって必要性がある場合について、良いと思った。	子どもに「すい？」と聞いたとき、「アッチでも大丈夫かな？」と答えていたので、その時のメモリットを思い出せば、個別最適は必要ない学習できそう。特にLIVE方式はいいなと思いました。
できたと思います。	後半に画像を送っている、最初はもう少し個人で考える時間があった方がいいかと思いました。	複数の選択肢がありよかったと思います。	
どの児童も絵画をよく賞賞し、登場人物やその背景を想像しようとしていたと思う。	後半に画像を送っている、最初はもう少し個人で考える時間があった方がいいかと思いました。	各自が細部を読み取るための方法や発信の仕方など、だれとどのように学ぶかを選択肢ができたように思う。	お疲れ様でした。個々の研究は初めて見たかもしれませんが、新鮮な内容で楽しむことができました。
効果的な方法でねらいにせまっていた。	交流のツールとして有効であった	選択肢が多く、個別最適なうえ 意見を交わることができた学びでした。	
たぐさんの意見に触れたので、手紙の内容を考えるのが苦手な子どもも書くことができたように思います。	有効であったと思います。	自分の考えを書いたり、みんなと意見を交流できたりしていたので良かったです。	すまいるの3人も個人、グループでなんとか考えようとしていて充実した1時間であったように思いました。石井先生ありがとうございます。
最後のなりきり手紙まで送れた。		様々な方法を児童自身で選んでいたのが個別最適であったと思います。	せっかくのなりきり手紙を書いたのでタブレットがけで



研修内でチャットを初体験。「授業内でも活用できそう」という声があった。

授業後の研究協議では、学習支援ソフトの共有ノートを活用することで、活発な意見交流ができた

1 11月13日校内授業研究 研究協議	2 グループ	3
① ねらいにせまることはできたか せまっていたと思う。自分の考え以外にも、すぐに友だちの考えをみることでできたことが大きかったと感じた。 ねらいにせまっていた。特に黄色から「悲しき」を想像して、それを手紙の内容に反映していた児童もあり、書えのない活動だからこそ児童の鑑賞するポイントがそれぞれあったということがせまられた授業であったと思います。 登場人物や背景から想像することができていたと思います。 どの児童も思いを巡らせようとする姿が見られた。 考えの共有があることで、より、ねらいにせまっていたのではないかと。	② ICT機器を使うポイントは有効であったか 有効だったと思う。手紙の内容を送信するところまでのアナログ機器で進める選択肢など、とても、個人的に好きでした。 有効的に使うことができた授業だと思いました。Chromebookだけでなく、いろいろな選択肢が可能な授業は子どもたちも安心して受けることができると考えます。 作品を見たり、気づきを書いたり切り替えができるので、よかったと思います。	③ 「個別最適」で「協働的な学び」になっていたか 情報量が多い中で、自分で取り組む内容を決めて行動できていたことで、個別最適化できていたと感じた。 紙に鉛筆で書く、ホワイトボードにペンで書く、タブレットに入力、写真で表現など選択肢のものがよかったです。 選択肢が多い授業であった。一緒に考えて考える学びもあり、協働学習もできており最適な学びであった。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

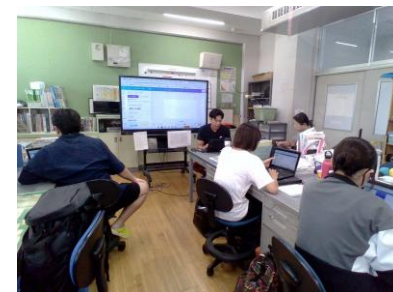
橿原市立 白檀小学校（奈良県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体を実現するための校内研修②

低・中・高学年別公開授業

全職員公開授業を実施した。授業略案はスプレッドシートで作成し、授業後はGoogleformで振り返りを行った。授業案が簡単に全職員に共有でき、授業後の振り返りをすぐに授業者に伝えることができる。

研修報告会・PCスキルアップ研修



先進校視察の内容や各クラスでの授業実践、タブレットの効果的な活用法など報告し合う機会を1学期に2回、夏季休業中に2回、2学期に2回実施した。



職員の希望に応じてスキル別PC研修を実施。非常に好評であった。

学年：	4年	教科：	図工
実施日：	2024年7月1日		
単元名：	色合い響き合い		
授業のねらい（つきたい力）			
自分や友達が作った色カードを並べる活動を通して、色や形・それらの組み合わせなどについて見方や感じ方を広げる。			
授業の流れ	①	前時に作った色カードをグループで紹介し合う。	
	②	グループで意見を出し合いながら色カードを並べる	
	③	並べたカードをタブレットで撮影し、感じたことを書き込む	
	④	他のグループの作品を鑑賞し感想を伝え合う	
授業を見る視点			
①この授業で、ねらいにせまることができたか			
②ICT機器を使うポイントは有効であったか			
③ グループで意見を出し合いながら作品づくりができたか			